

平成 29 年 12 月 19 日

各 位

会 社 名 三井海洋開発株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 宮 崎 俊 郎
(コード番号 6269 東証第1部)
問 合 せ 先 総務部 (TEL. 03-5290-1200)

ペトロbras社ブラジル沖合プレソルト層 Mero 鉱区向け FPSO 受注

三井海洋開発株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:宮崎俊郎)は、ブラジル連邦共和国の国営石油会社である Petróleo Brasileiro S.A. (以下「ペトロbras社」、本社リオデジャネイロ市)率いる Libra(リブラ)コンソーシアムより、FPSO (Floating Production, Storage & Offloading System:浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備)1 基の建造及びチャーター契約を受注しました。

本 FPSO は、ペトロbras社(40%)、Shell(20%)、Total(20%)、CNPC(10%)及び CNOOC(10%)により組成される Libra コンソーシアムが権益を保有しペトロbras社がオペレーターを務める Mero(メロ)鉱区(旧 Libra 鉱区)の開発プロジェクトに用いられます。ブラジル・リオデジャネイロ沖合約 180km の Santos(サントス)海盆内に位置する Mero 鉱区は、海底下約 5,000m のプレソルト層(岩塩層直下の層)にある海底油田の一部です。

日量 18 万バレルの原油生産能力、日量 12 百万立方メートルのガス生産能力、日量 22 万 5 千バレルの水圧入能力、140 万バレルの原油貯蔵能力を持つ本 FPSO は、当社米国子会社の SOFEC, Inc. 社が設計・建造する Spread Mooring(スプレッド・ムアリング:多点係留)と呼ばれる係留設備で、水深約 2,100m の海上に係留されます。

当社は、本 FPSO の設計から機器購入、建造、据付までの一括工事を請け負います。また、本 FPSO は、完成後に当社の関連会社が保有し、ペトロbras社が率いる Libra コンソーシアムに対する 22 年のチャーターサービス(リース及び運転・保守点検等のオペレーション)に供されます。

本 FPSO は、ブラジルにおける海洋石油・ガス開発プロジェクトとして当社が建造する 14 基目の浮体式設備となり、本件は今年 10 月の Sépia(セピア)鉱区向け FPSO に次いで 2 基目の FPSO の受注となります。本年、ペトロbras社から大型案件を連続して受注したことにより、来年度以降、当社の収益基盤は一層拡大できると期待しています。

現在、ブラジルで生産されている原油量の約 3 割は、当社がオペレーションを手掛ける 9 基の FPSO と 1 基の FSO(Floating Storage & Offloading system:浮体式海洋石油・ガス貯蔵積出設備)を通じて産出されており、ブラジルは当社にとって最も重要な市場のひとつであります。特に、2006 年に発見され、その可採埋蔵量の多さから、同国のみならず石油業界全体から注目されるプレソルト層深海鉱区群では、2010 年に当社建造の FPSO が世界初の原油商業生産を達成して以来、当社は本 FPSO を含め計 7 基^(※1)の FPSO を受注するなど、圧倒的な実績を誇っています。なお、建造中も含め当社が建造後オペレーションサービスを提供するブラジル向け FPSO 計 12 基の総原油生産能力は、日量約 150 万バレル^(※2)に達することになります。



三井海洋開発株式会社について

三井海洋開発(MODEC)は、海洋石油・ガス開発プロジェクトに用いられる浮体式海洋石油・ガス生産設備の建造、チャーター、オペレーション&メンテナンスサービスを提供する日本で唯一の企業です。

<http://www.modec.com/jp>

(※1) 2010年10月に世界で初めてブラジル沖プレソルト層深海鉱区での原油商業生産を達成した FPSO Cidade de Angra dos Reis MV22をはじめ、当社グループで保有する以下5基のFPSOが、それぞれペトロプラス社がオペレーターを務めるプレソルト層深海鉱区で稼働している他、本年10月に当社が受注し現在建造中の「FPSO Carioca MV30」もプレソルト層である S epia(セピア) 鉱区向けFPSOです。

- FPSO Cidade de Angra dos Reis MV22: Lula(旧Tupi) 鉱区
- FPSO Cidade de S ao Paulo MV23: Sapinho a(旧Guar a) 鉱区
- FPSO Cidade de Mangaratiba MV24: Iracema Sul(旧Cernambi Sul) 鉱区
- FPSO Cidade de Itagua  MV26: Iracema Norte(旧Cernambi Norte) 鉱区
- FPSO Cidade de Caraguatatuba MV27: Lapa(旧Carioca) 鉱区

(※2) 参考値として、日本国内/ブラジル国内で消費される原油が、それぞれ1日当りおおよそ450万バレル/300万バレルであると言われています。